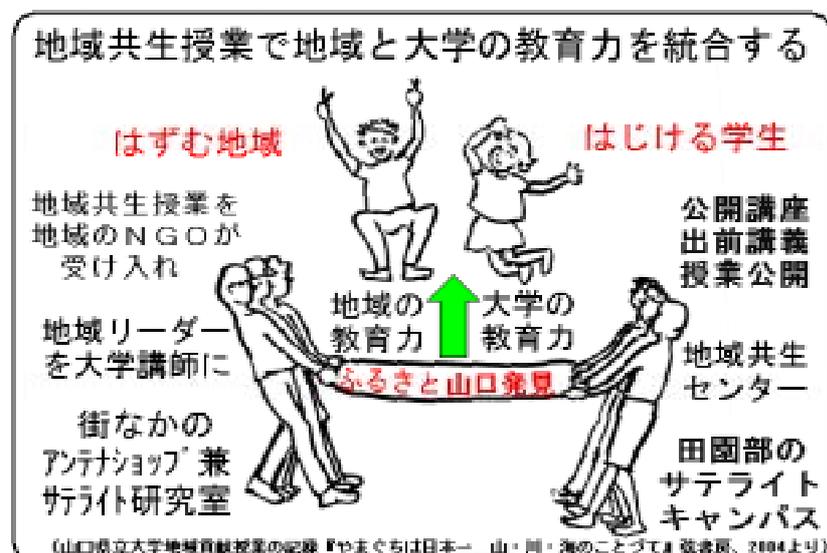


- ・取組名称 **やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開**
- ・副題 **山口市の都市部と田園部におけるワークショップ型授業による団塊世代と若者の定住促進**
- ・取組学部等 全学（共通教育、各学部および大学院）
- ・キーワード 地域共生授業、地域の教育力、地域課題の解決、広域合併後の格差是正、多世代交流と定住促進

・取組の概要のご説明

地域が学校・地元が先生 だから、キャンパスを飛びだそう！これがこの取り組みの基礎をなす考え方です。図に示しましたように、そのためには、大学内の教職員のチームワーク、地域のチームワーク、そして両者の息がぴたっとあうためのコーディネートが必要です。



県内唯一の公立大学として、存在感のある「地域貢献型大学」になることを私たちは目標として設定しました。そのためには、従来の公開講座などに加えて、こうした「地域の教育力」を生かす取り組みが重要だと考えております。

1市4町が合併した山口市の都市部と田園部は、それぞれに異なる魅力と

悩みをもっておりますが、山口県立大学では、その魅力の発見と悩みの解決をめざす住民主体のワークショップやフィールドワークに学生たちを送る多世代交流・地域共生授業を開始しています。このボランティア経験に基づいて、ともに汗を流し智慧を絞る中で地域の魅力に深く触れ、地域の悩みの主体的な解決に携わらせる「地域づくり達人塾」方式を一般教育・学部教育で実施し、さらに地域リーダーが学生および地域参加者として多く集う大学院での地域共生授業につなげていきます。徳地町（現山口市）と県立大学との包括的提携をモデルに、山口市がこれから取り組む「産・学・官・民の多様な主体からなる（仮称）アカデミー機構の構築」等の地域再生計画につなげていただくことが決まっています。今年からスタートした野田学園高校との包括的提携も生かして、地域・高校・大学・大学院が連携して、第二の故郷の魅力との出会いと、団塊世代と大学卒業生の地域定住促進を目指すモデル事業であります。ぜひ、ご注目ください。